

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35 (13)	☆災害対策において、夜間における体制が夜勤職員では、不十分であり、避難誘導を要する場合は迅速な対応が困難となる。	☆同一法人の施設からの応援体制を確立し、合同訓練を開催する。 ☆近隣住民からの協力を仰ぎ防災訓練等に参加を頂く。	☆法人の防災委員会の年間活動計画に合同訓練を位置づけ実施する。 ☆近隣住民とは、ホームで行われる各種行事への参加を呼びかけ、日頃から、コミュニケーションを取ることで、防災訓練への協力をお願いする。 ☆近隣住民へのお知らせは各家々へポスティングを行いホームの広報などとともに配布していく。 ☆運営推進会議を利用し、地域住民への周知と協力をお願いしていく。	12ヶ月
2	34	☆急変時には、ベテラン職員でもその対応に慌てることある。特に経験の浅い職員が多いことから、夜勤帯での体調の急変、事故発生については、的確な対応ができない恐れがある。	心肺蘇生訓練・AED操作訓練を通して的確な救急対応を身に着ける。	年2回行われる消防署員指導の下での訓練のほか、医療連携体制を取っている医療機関の看護師との実践的な連携訓練を進めていく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。